

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成25年3月分)

ご協力ありがとうございました。平成25年3分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 160社 回答 154社 回答率 96.3%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	15社 9.8% (15.7)	30社 19.6% (28.8)	53社 34.6% (34.0)	37社 24.2% (17.0)	18社 11.8% (4.6)	153社	11社 7.3% (5.3)	20社 13.3% (19.3)	54社 36.0% (34.0)	41社 27.3% (23.3)	24社 16.0% (18.0)	150社
売上高	16社 10.4% (15.0)	33社 21.4% (31.4)	53社 34.4% (34.0)	35社 22.7% (14.4)	17社 11.0% (5.2)	154社	11社 7.3% (5.4)	15社 9.9% (16.1)	49社 32.5% (31.5)	42社 27.8% (26.2)	34社 22.5% (20.8)	151社
在庫数量	6社 4.0% (4.1)	34社 22.8% (19.0)	74社 49.7% (55.1)	31社 20.8% (17.7)	4社 2.7% (4.1)	149社	13社 9.0% (9.7)	19社 13.2% (14.6)	64社 44.4% (52.1)	31社 21.5% (13.2)	17社 11.8% (10.4)	144社
販売単価	1社 0.7% (0.7)	28社 18.7% (21.6)	114社 76.0% (67.7)	7社 4.7% (10.1)	0社 0.0% (0.0)	150社	5社 3.4% (1.4)	14社 9.6% (11.0)	62社 42.5% (39.3)	49社 33.6% (34.5)	16社 11.0% (13.8)	146社
収益状況 (粗利)	10社 6.6% (6.6)	25社 16.6% (27.2)	76社 50.3% (48.3)	31社 20.5% (14.6)	9社 6.0% (3.3)	151社	14社 9.5% (5.4)	19社 12.8% (12.8)	64社 43.2% (37.2)	36社 24.3% (31.1)	15社 10.1% (13.5)	148社
稼働率 (生産・加工設備)	6社 4.7% (3.2)	21社 16.3% (29.0)	66社 51.2% (50.0)	28社 21.7% (12.1)	8社 6.2% (5.6)	129社	5社 4.0% (0.8)	10社 7.9% (10.8)	64社 50.8% (52.5)	27社 21.4% (22.5)	20社 15.9% (13.3)	126社
入出庫の トラック台数	6社 4.1% (4.2)	19社 13.1% (25.7)	79社 54.5% (55.6)	37社 25.5% (12.5)	4社 2.8% (2.1)	145社	7社 5.0% (0.0)	11社 7.9% (12.2)	65社 46.4% (49.6)	40社 28.6% (25.2)	17社 12.1% (12.9)	140社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	1社 0.7% (0.0)	8社 5.5% (12.3)	76社 52.1% (54.1)	40社 27.4% (19.2)	21社 14.4% (14.4)	146社	3社 2.1% (0.7)	48社 33.1% (42.7)	74社 51.0% (47.6)	17社 11.7% (7.0)	3社 2.1% (2.1)	145社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(3月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載していません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 1、2月に引き続き、3月も荷動きは低調である。値上げ前の仮需的な動きが見られない。先行き、物件などの話はあるが、市場が盛り上がるまでには至っていない。価格も依然として低位安定で、横這いを唱える業者ばかりで、値上げに動けない。各流通は、期待感だけに振り回されている感がある。
- ② 値上げ転稼に注力しているが、需給の改善が進まない中、流通の足並みも揃っていない。海外市況も軟化傾向にあり、値上げムードには閉塞感がある。薄板三品在庫も350万トン以下を目指すべきで、現状水準での価格転稼は至難の業である。
- ③ 稼働日は前月比1日増であったが、売上、数量ともに減となった。同一業種、同一規模でも得意先の繁忙感に大きなバラツキがあり、トータルの絶対数量が少ない。先高を予測するも、目先は当用買いとなっている。ダクト関連に動きが見られるが、建築や機械設備関係は実需が思ったほど出て来ていない。薄板の市況は底打ちを確認するも、上伸力に乏しい。新年度に入り設備投資需要が出て来るのは、もう少し時間が掛かりそうだ。我々業界にとっては、ドル高円安よりも、ウォン高円安の方がメリットは大きく、影響も早く実感されるようだ。

中板

- ① 年度末は比較的荷動きが良い月だが、今年は売上減であった。実需が無い中値上げが通らず、販売単価は横這い。急激な為替、株価変動の中、潮目の変化に期待。値上げ玉が入荷する中、早急な販売価格への転稼が課題。

厚板

- ① 建材分野全体としての基調は前月と変わらないが、当月は成約物件の山積みの関係から数量的には増加した。現在、建材マーケットの市況上昇力は弱い、高炉が建材・店売り分野に引き続いて、建産機・造船分野での値上げを打ち出したことや、各高炉が5月以降にミルの定期修理を予定していることにより、供給面でのタイト感から市況は上向いていくものと思われる。

一般開張鋼

- ① 4、5月と物件が出て来る予想がない。6、7月から物件が出て来るが、職人不足が大変だ。
- ② 前月比、営業日数は2日多いにもかかわらず、各調査項目は微減となり、実感としても減退した引合いと荷動きの月であった。これは、好調だった2月の反動で、4月中旬以降の建築需要を中心とした復調に期待している。

HI開張鋼

- ① メーカーの値上げを背景に、価格に関しては強含みの傾向にある。今月は荷動きも多少増加傾向にあったために、早急な価格転稼を行う。
- ② メーカー販価に見合う市況には到底届いていない。現在の需給バランスが劇的に改善されなければ難しいのではないかと。

異形棒鋼

- ① 4月に入り昨年と全く同じく、荷動きは低調。仕入れ高、売り値はあまり上がらずの状態になった。連休明けの荷動きとともに値上げを実行して行く。
- ② メーカー値上げに伴い市況改善に努力してきたが、3月度は荷動き閑散、販売不振であった。端境期とは言うものの、この環境では価格転嫁は難しく、4月以降も苦戦が予想される。

平鋼

- ① メーカーの4ヶ月連続値上げの発表があったが、市中は足下の荷動きも悪く、反応は鈍い。価格転嫁もようやく2月契約分が実施できた。その次への勢いは弱い、徐々に転嫁されていくものと思われる。

鋼管

- ① 3月の売上は、最近数ヶ月で最悪となってしまった。メーカー値上げにより、市中で極端に安い玉は無くなったが、値が上がるころまではいっていない。
- ② 3月としては最低水準の荷動きとなり、4月も不透明になりつつある。

構造用鋼

- ① 需要環境については、自動車関連は一部の大手では4月以降の生産を上方修正しているが、ユーザーによって販売状況や海外生産比率などの違いがあり、バラツキがある。建設機械、産業機械関連は、1～3月に一部で増加し、4月以降も増加傾向で推移すると思われるが、先行きの不透明感はある。店売りについては、実需が低水準のまま推移している中、荷動きは低調な動きが続いている。市況については、メーカーが値上げを表明し、下げ止まりの兆しは見られるが、需要回復が見られない中、価格転嫁は難しい状況にあり、現状横這いで推移している。
- ② 各鉄鋼メーカーが値上げを発表したものの荷動きが悪く、先行き不透明感が強い。やや弱含みの市況で、実際の値上げの動きがなく、活気がない。
- ③ 値上げにどのように対応するか、難しい時代だ。

その他

<曲げ加工>

- ① 公共投資の予算計上とは言うものの、我々中小企業にはまだ遠い存在で、先月よりやや減少ぎみで加工売上は上昇せず。どちらかといえば、低迷ぎみの連続で、多少上がった、下がったの繰り返し。今までの経済状況の底で、この傾向が強くと、なかなか上昇気流に乗らない。長い目で見るべきか。

<鉄スクラップ>

- ① 昨年末から上昇した相場も、輸出相場の軟化に伴い勢いが薄れてきた。

<金属表面処理加工>

- ① 3月は紐付き材の扱い数量は予定通りとなるも、物件物が工程遅れにより次月に延期。当月予定数量としてはスポットの受注が前月比10%増となったものの、全体の扱い量としては5%減となる。現時点でのスポットの引合いもプラント(配管等)、電力向けを中心に物件の動きを実感。先物件の見積りも多く、4月以降の荷動きを期待。